

評価表のまとめと改善目標

1. 工夫している点

○コロナ禍において、生活環境の配慮(清掃、消毒、換気、マスク)をしながら

効果的な活動が図れるよう利用者への指導支援に努めた。

○個別面談(月1回)や送迎時等を利用して、保護者と職員の情報共有を図っている。また、保育所やこども園との情報共有に努めた。

○親子イベントなどの行事がコロナ禍において出来なかったため、心愛だよりや写真、動画で様子を伝えるように努めた。

○発達に応じた指導方法や支援の在り方を学ぶ機会をつくり、共通理解が

2. 改善目標

○コロナ禍のため保護者会の開催ができなかったが、保護者は保護者同士の交流を望んでいるため、保護者会の在り方を考える。

○子どもの日々の様子や支援方法等についての情報を望んでいる為、個別面談以外での伝え方を考える。

○保護者や職員間の情報共有についても、双方で捉え方に違いがあるため、保護者との意思疎通を更に強化する必要がある。

以上のことから次の項目を改善目標とする。

《従来の保護者間交流の在り方を見直す》

《共通理解を図るため保護者と職員が協力し合える関係をさぐる》